

## 国際交流協定締結報告書

|               |  |    |   |       |   |    |  |
|---------------|--|----|---|-------|---|----|--|
| 1. 協定の名称      | 日本語名：日本国核融合科学研究所と中華人民共和国中国科学院等離子体物理研究所との学術交流に関する協定書附属書Ⅱ<br>英語名：ANNEX II TO THE AGREEMENT ON ACADEMIC AND SCIENTIFIC EXCHANGE BETWEEN THE NATIONAL INSTITUTE FOR FUSION SCIENCE, JAPAN AND INSTITUTE OF PLASMA PHYSICS, CHINESE ACADEMY OF SCIENCE, CHINA   |    |   |       |   |    |  |
| 2. 協定の種類      | <input type="checkbox"/> 機構として締結する協定 <input checked="" type="checkbox"/> 機関として締結する協定<br>(機関名：核融合科学研究所)   |    |   |       |   |    |  |
| 3. 相手機関の概要    | 日本語名：中国科学院等離子体物理研究所<br>英語名：Institute of Plasma Physics, Chinese Academy of Science<br>所在都市名/国名：中華人民共和国 安徽省合肥市<br>創設年：1978 年 9 月<br>設置形態： <input checked="" type="checkbox"/> 国立（中国科学院） <input type="checkbox"/> 公立 <input type="checkbox"/> 私立 <input type="checkbox"/> その他（ ）<br>組織及び規模（研究所・学部の構成、職員・学生の数等）<br>職員数：約 800 名、学生数：約 800 名（学生は、中国科学技術大学に所属）<br>その他（特色等あれば記入）<br>中国における核融合に係る総合研究拠点  |    |   |       |   |    |  |
| 4. 交流の経緯      | 中国科学院は、中国全土で 120 の研究所を有する学術機関であり、その傘下である等離子体物理研究所は 1978 年 9 月に設立され、核融合発電を実現するための基礎研究を行う研究所である。<br>核融合科学研究所と同研究所は、1992 年 6 月 27 日に学術交流協定を締結し、2001 年度から、日本学術振興会（JSPS）の国際事業「拠点大学交流事業」のプラズマ・核融合分野の採択を受け、双方の研究所が両国の拠点研究機関となり、10 年間にわたる国際共同研究事業を実施した。次いで 2012 年度からは JSPS の日中韓フォーサイト事業の採択を受け、5 年間にわたり、両機関間のより一層の共同研究の進展及び関係強化を果たした。本協定書附属書Ⅱは、従来からの交流協定に附属書を追加する形で、研究交流の拡大及び若手人材育成の更なる充実を目的としている。<br>※注 締結に至った経緯： <input checked="" type="checkbox"/> 1 <input type="checkbox"/> 2 <input type="checkbox"/> 3 <input type="checkbox"/> 4 <input type="checkbox"/> 5 <input type="checkbox"/> 6 <input type="checkbox"/> 7                                  |    |   |       |   |    |  |
| 5. 交流の目的・内容   | <table border="1"> <tr> <td>目的</td><td>核融合科学に係る共同研究をより一層発展させるとともに、若手人材育成に注力する。</td></tr> <tr> <td>交流の内容</td><td> <input checked="" type="checkbox"/> 研究者交流 <input checked="" type="checkbox"/> 学生交流 <input type="checkbox"/> 事務職員交流 <input checked="" type="checkbox"/> 共同研究<br/> <input checked="" type="checkbox"/> 学術情報・資料提供 <input type="checkbox"/> その他（ ）<br/>           （詳細）講演会やシンポジウムの開催を通じて、核融合プラズマの学理を中心に研究交流を拡大発展させる。核融合科学分野の更なる発展には、若手人材の育成が肝要であり、大学院生の交流を図るとともに、共同で論文指導を行う。         </td></tr> <tr> <td>経費</td><td>機構の経費負担の有無 <input checked="" type="checkbox"/> あり（1,290 万円：平成 23 年度）<input type="checkbox"/> なし</td></tr> </table> | 目的 | 核融合科学に係る共同研究をより一層発展させるとともに、若手人材育成に注力する。 | 交流の内容 | <input checked="" type="checkbox"/> 研究者交流 <input checked="" type="checkbox"/> 学生交流 <input type="checkbox"/> 事務職員交流 <input checked="" type="checkbox"/> 共同研究<br><input checked="" type="checkbox"/> 学術情報・資料提供 <input type="checkbox"/> その他（ ）<br>（詳細）講演会やシンポジウムの開催を通じて、核融合プラズマの学理を中心に研究交流を拡大発展させる。核融合科学分野の更なる発展には、若手人材の育成が肝要であり、大学院生の交流を図るとともに、共同で論文指導を行う。 | 経費 | 機構の経費負担の有無 <input checked="" type="checkbox"/> あり（1,290 万円：平成 23 年度） <input type="checkbox"/> なし |
| 目的            | 核融合科学に係る共同研究をより一層発展させるとともに、若手人材育成に注力する。  |    |   |       |   |    |  |
| 交流の内容         | <input checked="" type="checkbox"/> 研究者交流 <input checked="" type="checkbox"/> 学生交流 <input type="checkbox"/> 事務職員交流 <input checked="" type="checkbox"/> 共同研究<br><input checked="" type="checkbox"/> 学術情報・資料提供 <input type="checkbox"/> その他（ ）<br>（詳細）講演会やシンポジウムの開催を通じて、核融合プラズマの学理を中心に研究交流を拡大発展させる。核融合科学分野の更なる発展には、若手人材の育成が肝要であり、大学院生の交流を図るとともに、共同で論文指導を行う。  |    |   |       |   |    |  |
| 経費            | 機構の経費負担の有無 <input checked="" type="checkbox"/> あり（1,290 万円：平成 23 年度） <input type="checkbox"/> なし   |    |   |       |   |    |  |
| 6. 連絡調整責任者    | 職名・氏名 核融合科学研究所・教授・磯部光孝<br>電話番号 0572-58-2173<br>メールアドレス isobe.mitsutaka@nifs.ac.jp  |    |   |       |   |    |  |
| 7. 相手機関の対応責任者 | 職名・氏名 中国科学院等離子体物理研究所・教授・Liu Haiqing<br>電話番号 +86-0551-65592075<br>メールアドレス hqliu@ipp.ac.cn   |    |   |       |   |    |  |

|  |   |
|--|---|
| 8. 締結年月日   | 2024 年 2 月 22 日<br>〔本件は附属書として締結するため、有効期間は、本協定書に準ずる〕   |
| 9. 署名者<br>(職名・氏名)  | 本 機 構：□機構長   ■機関の長（吉田善章）   □その他（                    ）<br>相手機関：中国科学院等離子体物理研究所      Song Yuntao 所長  |
| 10. その他  | 特記事項：   |
| ※注 締結に至った経緯<br>(複数選択可)<br><br>〔文部科学省「大学等間交流協定<br>締結状況等調査」等を使用しま<br>す。〕 | 1：機構（機関）から要請した。<br>2：相手側から要請した。<br>3：機構（機関）として明確な戦略があり、その実現のために締結した。<br>4：大学組織としての戦略ではなく、研究者の個人的な関係から協定に発展した。<br>5：既に共同研究等で交流があり、双方の合意で協定を締結することになった。<br>6：コンソーシアムへの加入により、海外の機関と協定を締結することになった。<br>7：その他 |

## ANNEX II

ANNEX II TO THE AGREEMENT ON ACADEMIC AND SCIENTIFIC EXCHANGE  
BETWEEN THE NATIONAL INSTITUTE FOR FUSION SCIENCE, JAPAN AND THE  
INSTITUTE OF PLASMA PHYSICS, CHINESE ACADEMY OF SCIENCE, CHINA

This Annex defines the detailed provisions under the Agreement on Academic and Scientific Exchange between the National Institute for Fusion Science, Japan and the Institute of Plasma Physics, Chinese Academy of Science, China,\* signed on June 27, 1992.

The Parties agree as follows:

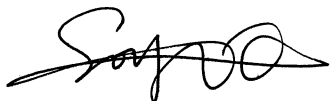
- Exchange of graduate students
- Conducting thesis co-supervision
- Holding lectures and symposiums

\* Here in after jointly referred to as the “Parties”

For ASIPP:

Prof. Yuntao SONG

Director General



Date: February 22, 2024

For NIFS:

Prof. Zensho YOSHIDA

Director General



Date: February 22, 2024

## 附属書Ⅱ

### 日本国核融合科学研究所と中華人民共和国中国科学院 等離子体物理研究所との学術交流に関する協定書附属書Ⅱ

この附属書は、1992 年 6 月 27 日に調印した日本国核融合科学研究所と中華人民共和国中国科学院等離子体物理研究所\*との学術交流に関する協定書に関する詳細を定めるものである。

両研究機関は次のことに合意する。

- － 大学院生の交流
- － 論文共同指導の実施
- － 講演会、シンポジウムの開催

\* 以下、「両研究機関」とする。

年 月 日

年 月 日

中華人民共和国  
中国科学院等離子体物理研究所長  
宋云涛

日本国  
核融合科学研究所長  
吉田 善章